

2019年5月14日

## ISO/TC68 国内委員会議事録<sup>1</sup>

日 時：2019年2月1日（金）10：00～12：00  
場 所：日本銀行本店 新館 9F 大 B 会議室  
出席者：ISO/TC68 国内委員会メンバー、ISO/TC68 国内委員会事務局

- ISO/TC68 国内委員会（以下、当委員会）の松本勉委員長（横浜国立大学教授）の議事進行によって、報告が行われた。要旨は以下のとおり。

### 1. 開会挨拶

当委員会事務局より鹿島情報技術研究センター長（日本銀行金融研究所）の開会挨拶に続き、松本委員長が挨拶を行った。

### 2. 当委員会事務局からの報告

2018年12月1～2日にシンガポールで開催された ISO 20022 RMG 会合での討議内容のほか、最近の ISO/TC68 の動き（国際投票案件の審議状況や TC68/SC2・SC8・SC9 に設置されている各 WG での検討内容等）について報告を行った（報告内容は[別添資料1](#)を参照）。当委員会メンバーからは自身の関心が高い分野の WG に関する質問が出され、参加者全体で討議が行われた。

また、2018年6月会合以降の当委員会メンバー異動情報および投票案件状況について、会合席上で確認を行った<sup>2</sup>。

### 3. 当委員会の運営

当委員会メンバーに対して関連する WG へのエキスパート参加を呼び掛けた。この背景として、昨年以降 WG の新設が相次ぐ中、当委員会は十分なエキスパー

---

<sup>1</sup> 国際標準化機構（ISO）金融サービス分野の専門委員会（TC68）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

<sup>2</sup> 国際規格の開発には、以下の6段階のプロセスがある\*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。

\* 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7段階のプロセスとなる。

トを派遣できていないために本邦の意見が国際の場で反映されないリスクが高まっていることや、当委員会メンバー不在の WG においては各国の問題意識や論点等を把握できていない実情を説明した。

#### 4. リエゾン報告

##### ① ISO/TC307 (Blockchain and distributed ledger technologies)

ISO/TC307 国内審議委員会の楠委員長より、[別添資料2](#)に基づき、TC307 の最近の動向について報告が行われた。

##### ② ISO/IEC<sup>3</sup> JTC1/SC17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC1/SC17 国内委員会の廣川委員長より、[別添資料3](#)に基づき、SC17 の最近の動向について報告が行われた。

##### ③ ISO/IEC JTC1/SC37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC1/SC37 国内委員会の新崎委員長より、[別添資料4](#)に基づき、SC37 の最近の動向について報告が行われた。

#### 5. 当委員会事務局からの連絡

次回の ISO/TC68 国内委員会の開催時期は、ISO/TC68 年次総会（2019 年 5 月 13～17 日、パリ）後の 6 月頃を予定していることを連絡した。

以 上

---

<sup>3</sup> International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議。